

# 巻 頭 言

甲南大学カウンセリングセンター所長・学生相談室長  
全学共通教育センター教授

山 崎 俊 輔

甲南大学学生相談室紀要第30号の発刊を通して、今後の研究並びに学生相談室活動がより一層充実していくことが期待されるところです。

ここ3年余りの大学生活や教育環境の大きな変化の中で、教育現場に従事されている方は、コロナ禍が学生の心理面に与える影響を危惧しながら、学生一人ひとりの心のケアや学生自身の成長のために、大学が、また個人として何ができるのか、今学生にとって必要で正しい支援や教育内容は何かと常に問い続けておられることと思います。

甲南大学学生相談室においては、感染防止に努めながら、「様々な学生が安心して学び、本学の建学の精神である個性が尊重され、個々の力が最大限に発揮され、社会の中で自己実現できるよう、個別、少人数での心の支援をする」という活動指針のもと、スタッフ一団力を合わせながら、誠心誠意、最大限のご努力を続けられている姿に対して、心より敬意を表したいと思います。

これまで本学の学生相談室は、刻々と変化する学生の気質や大学環境に応じた新たな学生支援の方法を研究、開発し、不適応を未然に防ぐための全学生への予防教育活動並びに成長支援活動が行えるよう努力してまいりました。2023年4月からは、「相談・教育・研究」の有機的循環による専門的活動の質の維持発展を図り、学生支援に関する相談対応の中心的役割を発揮できる体制を整えることを主眼とした新たな学生支援機構のもとに活動拠点を移すことになりました。

将来ますます厳しく困難な社会状況が続くことが予想される中、学内においても心理的な理由から学習の継続や生活の中での困難さを抱える学生が多くなることが推測されます。これらの体制整備は、甲南大学が目指す「人物教育の率先」「面倒見の良い大学」の基盤となるものであり、本学学生相談室としては、「良き環境や教育」を念頭に入れながら、学生を積極的に支援し細やかな相談ができる体制を構築していくことが、より一層強く求められています。

甲南大学の取り組みである「めまぐるしいスピードで変化する予測不可能な時代を『正志く、強く、朗らかに』生き抜く人間力の育成」を支える大切な機関としての本学学生相談室の今後の活動の益々の発展、充実を期待したいと思います。

「人間の魂が人間を作る。」

「真の人間教育は、人格の触れあいによってでなくては、完全は期せられない。」

これらの言葉は甲南学園創始者平生鈺三郎先生の教育観です。私自身、甲南大学での教育に携わる者は、どのような時代であっても常に心に留めるべき言葉だと思っています。

最後になりましたが、本学学生相談室の活動に対して皆さま方からのご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。